

令和3年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

法人名		園 名						
社会福祉法人照治福祉会		清水認定こども園						
評価科目	まとめ		全体平均	4.22				
満3歳以上の教育保育	子どもの主体性を大切にしながら、子ども自身の育ちを認め寄り添い見守って必要時の支援を心掛けている。また、異年齢保育を意識し、各年齢の発達を考慮しながら、保育者の関りや環境を整えている。							
教育保育の配慮事項	一人の人として関わっていくことで子どもの育ちを保証し、子どもの経験すべき事柄に空白が起きないように日々の教育保育に工夫する。							
健康及び安全	常勤看護師を配置し、日々の健康管理、安全対策など十分に配慮している。安全対策においては、毎月安全チェック表にて、各保育室、共有空間など危険な個所はないか確認し、日々の運営がスムーズに行えるようにしている。また、新型コロナウイルス感染症への感染対策をこまめに行い、職員及び保護者への感染防止対策を周知する。							
子育ての支援	地域のニーズをリサーチするとともに常にアンテナを張り、地域貢献できるよう、心掛けて実施している。今年度においては、建て替え工事が行われていたため、十分な支援活動ができなかったが、来年度に向けての活動内容を精査し実践に向けて取り組んでいく。							
職員に資質向上	職員の経験年数に開きがあり中堅職員が少ないことから、園内研修などを行い、知識や技術はもとより、人としての人間性を高めていくよう日々の自己研鑽を深めていく。							
総合	子どもの最善の幸せを考えた様々な内容の下、まずは子どもが主体的に行動できる環境を一番に考え、大人が主導権を持つ教育保育ではないことを記している。子どもの成長に沿った関わりを大切に、寄り添い対話をしながら、思いを受け入れて成長を支援していけるような教育保育を求められている。あそびを通して子どもの感性を伸ばし、心豊かな人に育つように丁寧な関わりを求められていると感じる。保育者も感性を磨き、保育者自身の資質を向上させるための努力を惜しまずこの仕事に誇りを持って取り組んでいけるようにしていきたい。							
データ表			データグラフ					
内 容	項目数	平均	0.00	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00
満3歳以上の教育保育	53	4.15						
教育保育の配慮事項	16	4.44						
健康及び安全	29	4.28						
子育ての支援	18	4.23						
職員に資質向上	9	4.28						
計	125	4.22						